



地域を守る消防団
～消防団観閲式にて～

 **愛西市** AISAI CITY ASSEMBLY
議会だより

No.69
2022.8.1

6
月
定
例
会

特集	コロナ対策 市独自の支援策	2
	議論の中から新発見	3
	一般質問 ～市政を問う～	5
	イキイキコーナー 第12回	
	ラグビーフットボール協会	17
	取材しました！愛西市の偉人 梶浦正之	18

コロナ対策 ～市独自の支援策～

●上水道料金 免除・補助事業

コロナ禍における原油価格、物価高騰が市民の生活及び経済活動に影響を与えることを踏まえ、上水道の基本料金を令和4年8月分から令和5年1月分（6カ月間）を免除します。

1億8461万7千円

Q 地区ごとの免除額は。また、口径別の補助金は。

口径	13mm	20mm
八開地区	10,890円	
佐織地区	7,920円	
佐屋、立田地区	5,808円	15,840円
稲沢市水道	4,620円	17,820円
津島市水道	5,181円	14,190円
あま市水道	7,260円	
蟹江町水道	7,590円	

※金額は6カ月間の場合

▲水道契約ごとの免除額

A 八開地区は1万890円、佐織地区は7920円。海部南部水道企業団エリアの佐屋、立田地区は口径13ミリ5808円、口径20ミリ1万5840円など。

●保育所等給食 費緊急補助事業

物価高騰に直面する子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもを安心して育てることができるよう

う、給食費（副食代）を令和4年7月から12月まで（6カ月間）支援します。

Q 対象人数と食数は。

A 対象人数は全て3歳以上の園児が対象となる。公立3園分で118人、民間保育園、認定こども園分の660人、永和保育園分の60人、幼稚園分290人の見込みになる。食数は6カ月分の見込みとなる。

Q なぜ主食代を対象に
しなかったか。

A 副食代は、すでに市独自の事業として3500円の補助を実施しており、保護者への負担軽減を速やかに行えるため、副食代の上乗せ補助とした。年内中の物価高騰に緊急的に対応するため半年間にした。

令和2年度実施した主な支援策

- 上下水道料金免除補助事業
- 小中学校給食費等無償化事業
- プレミアム付商品券補助事業
- 商工業者のための冬支度応援事業
- 防災備蓄品整備事業
- 学校臨時休業対策費補助金事業
- 小中学校 GIGA スクール事業
- 修学旅行のキャンセル料等支援事業
- 民間児童クラブ応援事業
- 高齢者インフルエンザ予防接種補助事業
- リモート環境導入事業
- キャッシュレス決済導入事業

令和3年度実施した主な支援策

- 避難所用備蓄品等整備事業
- 救急活動・救急車感染防止対策事業
- 市内小中学校の手洗い水栓を一部自動水栓化
- キャッシュレス決済導入事業
- 申請書作成等システム導入事業
- スポーツ施設予約導入事業
- 商工業者事業継続支援事業
- プレミアム付商品券補助事業
- 小中学校給食費無償化事業
- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
- 新生児子育て応援給付金事業

議論の中から新発見

一般会計補正予算 (コロナ支援策以外)

アピアランスケア支援補助制度を創設します

がん治療に伴う外見変貌による患者の心理的・経済的負担を軽減し、社会復帰を促進するため、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費用を補助します。(上限額2万円)

440万円

Q 申請にはどのような書類が必要か

A がん治療を受けていること、及び治療に伴い脱毛または乳房を切除したことを証明する書類の写し、補整具の購入に係る領収書、住民票の写しの3点。

Q いつから購入したものが補助対象となるのか。

A 平成4年4月1日以降に購入したものに限り。なお、申請書の提出期

限は購入した日の翌日から1年以内。

子宮頸がんワクチンの接種費用を助成します

定期予防接種の対象年齢経過後に、実費でワクチン接種をした方に、接種費用を助成します。

180万2千円

Q 接種費用を助成するに当たり必要な書類として、領収書または額及び接種回数を証明できる書類とあるが、証明書等金額が記載されていない書類で申請する方への対応は。

A 母子健康手帳の接種が分かるもの、接種済証または接種証明書で確認する。

Q 対象者への周知は。

A 公費接種による接種完了の記録がない平成9年4月2日から18年4月1日までに生まれた方に

5月31日付で予診票等を発送した。通知文の中に、過去に任意接種された方への償還払いについて、ホームページ・広報等で知らせる旨を案内している。

農業者等の生産力強化を図る取り組みを支援します

水田・畑作・野菜・果樹等の地域の営農戦略として定めた「産地・パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者等が計画した生産力強化を図る取り組みを支援します。

410万8千円

Q 対象となる条件、事業内容は。

A 愛知県知事から承認を受けた令和4年度の事業実施計画の取り組み。追加された対象事業の内容は、レンコン事業については8件の農業機械等の導入で、対象事業経費は合計で約1030万円。

米、麦、大豆については1件の農業機械等の導入で、約348万円。

Q 計画を立てるに当たってどのような注意点があるのか。

A この補助事業を受けるに当たり、産地一体となった産地戦略をつくる。その戦略の目標達成のために、個々の担い手となる農家などが生産10%以上向上の成果目標に取り組み計画が必要となる。

森川花はす田拡張のため土地を買います

道の駅周辺整備事業の用地取得のため(2千万円以上・5千m以上の場合)、議会の承認を得ます。

Q 1,195,000円とは相場として適正か。

A 単価は、令和3年7月を鑑定基準日とし、不動産鑑定評価で算定した。農地のため、農業収益により求めた収益価格を参考とし、鑑定評価額を決定した。

Q 周りにほとんど住民がいない。近隣公園の趣旨から外れるのでは。

A 誘致地区の概念は平成15年まではあった。現在は、概念は当然残っているが、地域の実情に応じて都市計画区域内で設置する公園として認められている。



▶現在の花はす田

討論 議案第31号土地の取得について

賛成

反対

市が持続可能な街づくりを考え、新たな事業に臨むとき、「土地の取得」は必要な手立てだ。その上で、第2次総合計画に基づき、市外への知名度向上や来訪者などの増加が見込める有益な「道の駅立田ふれあいの里」リニューアル事業は、市の新たな魅力を発信し、市民にも愛西市をPRできる施設となることを願う。

土地は財産だ。有効利用はもとより、計画的な構想が必要だ。その始まりとなる本議案に賛成する。

道の駅の集客実績数は、平成20年の約29万人をピークに、令和3年の19万人と下がり続けている。今回、土地を取得し、道の駅と一体化して都市公園を整備する計画だが、事業拡大する計画よりも、まず既存の事業内容を見直すべきだ。

この場所は、住民が日常的に使う都市公園ではなく、観光用なら木曾三川公園がある。

公園と道の駅拡充に総額35億円かかるが、老朽化した小中学校の建て替えや、防災対策を行うなど、子ども達や、住民の安全のための政策を優先すべきだ。

◆◆同意◆◆

次の選任に同意しました。

教育委員会委員

水谷 朋和氏 (赤目町)

令和4年6月定例会議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

会 派	審議結果	新生愛西クラブ										公明党 あいさい	日本共産党 愛西市議団	無党派 吉川三津子	無党派 山岡幹雄	無党派 馬淵紀明	無党派 山田門左衛門	
		近藤 武	原 裕司	鬼頭勝治	杉村義仁	神田康史	佐藤信男	石崎誠子	角田龍仁	中村文武	佐藤旭浩	高松幸雄	竹村仁司	河合克平	真野和久			
6月定例会議案																		
愛西市職員の給与に関する条例及び愛西市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
土地の取得について	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
令和4年度愛西市一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
令和4年度愛西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
令和4年度愛西市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
令和4年度愛西市水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
令和4年度愛西市下水道事業会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	議	欠	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○
「消費税率5%へ引き下げ、複数税率・インボイス制度の即時廃止を求める意見書」採択を求める請願	不	●	●	●	議	欠	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●

※審議結果の「可」は可決、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。
※「議」は議長のため、採決に加わっておりません。「欠」は欠席です。

市政を問う

11議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり40分です。

●定例会第2日目、第3日目および第4日目に、11人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

6月7日

河合 克平 議員(P6)

- ◆35億円は、道の駅より老朽校舎対策に
- ◆老朽校舎の整備計画の進捗は

竹村 仁司 議員(P7)

- ◆発達段階に応じた教育環境整備が肝要

吉川 三津子 議員(P8)

- ◆日勤救急隊設置など 永和地区の命を守れ
- ◆高齢者世帯への支援の充実を

山田門左エ門 議員(P9)

- ◆立田の新公園より木曾三川公園の整備を
- ◆小中学校適正規模適正配置の計画は

真野 和久 議員(P10)

- ◆高齢者福祉タクシーの制限見直しを
- ◆統廃合より小規模校支援の充実が先

馬淵 紀明 議員(P11)

- ◆移動期日前投票所を導入する考えは
- ◆公共施設バリアフリー化の推進を

6月8日

石崎 誠子 議員(P12)

- ◆救急車が早く到着するための方策は
- ◆中学校の制服選択制導入へ

6月10日

神田 康史 議員(P13)

- ◆令和4年の愛西市議会議員選挙について

高松 幸雄 議員(P14)

- ◆高齢者福祉タクシー券利用条件の拡大を
- ◆地方創生交付金で喜ばれた施策は

近藤 武 議員(P15)

- ◆道の駅 再整備への思いは

山岡 幹雄 議員(P16)

- ◆勝幡地区 市街化の取り組みと見解は
- ◆「隠れ教育費」に負担軽減

35億円は、道の駅より 老朽校舎対策に

河合 克平議員



道の駅の整備は進め、教育環境は連携
市長

問 道の駅周辺整備の設計委託、用地取得、整備工事、その他の費用および管理運営方法は。

答 設計委託費等は約2億3千万円、都市公園の用地取得費は約3億6千万円、道の駅再整備、都市公園整備に関する工費は約29億3千万円、その他の費用は約6千万円となり、総合計は約35億8千万円になる。

問 民間企業のノウハウを活用し、一体的かつ効率的に管理運営していく。

答 35億円という非常に多額な費用をかけ、道の駅の施設をリニューアルするが、先に小学校のリニューアルを行うべきだ。一旦この道の駅の整備計画について立ち止まる考えは。

答 今回の整備は、国や県等の補助金を活用し、



▲道の駅周辺整備計画の費用

計画については、手順を踏み、様々な意見を聴いて進め、必要な予算についても、議会で審議し、認められて進めている。

学校の現状は、トイレ改修やエアコン等必要な部分は、国・県の有利な財源確保をし、整備している。子どもたちの教育環境を見据え、教育部局と連携し進める。

問 教育長の考えは。

答 今は本当に最低限の安全は確保され、危険なところは逐一報告をして、即刻対応をしている。計画が策定されれば速やかにお願いする。

老朽校舎の整備 計画の進捗は

問 学校老朽化対策についての取り組みは。

答 小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会を設置し併せて協議、検討を進める。

問 適正規模等の検証委員会は、中学校を優先するとしているが、統合される中学校の老朽化対策は行わないのか。

答 適正規模、適正配置と併せて検討協議しているのですが、この場でそういった答弁はできない。



発達段階に応じた教育環境整備が肝要

竹村 仁司議員

中学校の規模の適正化を優先

教育部長

《佐屋地区》			《八開地区》		
学校名	人数	学級数	学校名	人数	学級数
永和小学校	249	11	八輪小学校	93	6
市江小学校	179	6	開治小学校	71	6
佐屋小学校	524	17	八開中学校	88	3
佐屋西小学校	209	8			
永和中学校	163	6	《佐織地区》		
佐屋中学校	495	14	学校名	人数	学級数
			北河田小学校	254	11
《立田地区》			勝輪小学校	170	7
学校名	人数	学級数	草平小学校	208	8
立田南部小学校	99	6	西川端小学校	213	8
立田北部小学校	107	6	佐織中学校	241	8
立田中学校	129	5	佐織西中学校	232	8

令和3年10月1日現在の児童数・生徒数から推計

▲令和9年度学校別児童生徒数などの推計

問 適正化の要件として、発達段階に応じた教育環境整備が肝要である。特に中学校を優先して着手するとあるが、具体的に。

答 中学校は、小学校に比べて小規模校のデメリットが多くある。発達段階に応じた教育環境の整備を進めていくためには、中学校の規模の適正化に優先して取り組む必要がある。

問 基本方針に基づき、改めて協議が必要との提言がある。今後どのようにされるのか。

答 基本方針に基づき今後の協議を進めていくため、小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会を設置し、必要な予算を今議会に上程している。

問 学校は、地域の施設として検討状況をどのように市民へ情報提供するのか。

答 学校施設は子どもたちだけでなく、地域にとつて重要な施設である。ホームページで公表するなど情報発信していく。

問 各学校の改築や改修計画の策定の必要性などを提言書として令和4年3月にまとめている。具体的に今後どのように進めていくのか。

答 今後新たに設置する小中学校適正規模等並びに老朽化対策検討協議会において、対策の具体化に向けて検討協議していきたい。

問 基本方針では中学校の小規模校の課題解消を指摘している。老朽化からは、佐屋中学校、立田中学校が対象と考えられる。学校別児童・生徒数及び学級数の推計から見ると、八開中学校、立田中学校の適正化が考えられる。

答 この3校に対する適正化について見解は、立田中学校は、老朽化度合いを示す評価値も高いことから、改築計画の策定を早急に実施することが提言されている。八開中、立田中では、いずれも学級編制の下限としている6学級を維持することができない状況であり、学校規模の適正化を早急に進めていく必要がある。

日勤救急隊設置など 永和地区の命を守れ

吉川 三津子議員



広域化以外の手法も検討する
市長



▲永和地区の救急車到着時間

問 永和地区の子育て中の方から「救急車がちつとも来なくて不安だ」という声をもらっている。いくつもの踏切を越えねばならない。十四山に海部地方消防指令センターができたのに、なぜ蟹江消防署から来ないのかとの声だ。

救急車の到着所要時間は、全国平均が8.9分、県平均が7.5分。愛西市平均は9.3分で県下ワースト3だ。町別では、善

答 大新田町14.6分、大野町14.2分、鰐江町13.3分と到着最長時間は20分を超えており、永和地区が市の平均を押し上げている（左図）。平成25年の消防指令センター運用後、永和地区の救急車問題は協議されてこなかったのか。

答 協議されていない。

問 諸桑町は、津島市と協議して協定を結んでいるが、蟹江町とは協議していないのか。

答 検討はなかった。

問 市長としても、協議してこなかったのか。

答 海部地域広域化で、時間短縮できると考え、お願いしているが、時間がかかっている状況だ。

問 広域化の審議は、平成20年からされている。頑張っていくと答弁されても信用はできない。愛西市がリードし、いつまでに実現するのか。

答 明言はできない。

答 広域化以外の手法も検討し、実現できる部分はすべきだ。

高齢者世帯への
支援の充実を

問 高齢者のみの世帯が増えている。

稲沢市のおでかけタクシー、移動スパーへの取り組みを提案をしてきたが、どうだったか。

答 タクシーについては、引き続き確認していく。また、移動スパーについては、ヨシヅヤと高齢者支援を含んだ包括協定を結んでいるので、進めていきたい。

問 命の問題だ。①永和コミュニティセンターに、日勤救急隊を設置する
②蟹江町と委託契約を結ぶ
③JR踏切の下をくぐる二方通行道路を整備するなどの手法も並行して取り組むべきでは。



立田の新公園より 木曾三川公園の整備を

山田 門左工門議員

近隣市町と連携し、計画的に推進
産業建設部長



▲道の駅の直ぐ近くにある木曾三川公園

問 住宅街の近くに、日常的に散歩できる都市公園がほとんど無いのは何故か。

答 本市が合併する前の旧町村の時に、比較的小規模な農村公園や児童遊園など、身近に利用できる公園を中心に整備してきた。

問 道の駅に付随する都市公園を新しく作るより、すぐ近くにある木曾三川

公園を利用するほうが、効果的ではないか。

答 道の駅再整備と森川花はす田を含めた公園として新たに整備し、特産品のPRできる場を設け、地域振興への寄与につなげたい。

問 財政状況が悪い愛西市は、国と協力し、木曾三川公園を整備する検討をしなかったのか。

答 木曾三川公園は市民のレクリエーションの場となっており、近隣市町と連携し、国に要望をしながら、第2次愛西市総合計画に基づいたレクリエーション施設や遊歩道の整備を計画的に推進していきたい。

小中学校適正規模 適正配置の計画は

問 平成26年から適正規模適正配置を進めるために検討開始したが、何故これほど遅れたのか。

答 保護者へのアンケートや各地区における懇談会など進めてきたが、市民に十分に伝わっておらず、唐突感があった。また新型コロナウイルス感染症対策などの影響で対面での対話の機会が設けられなかった。

問 学校規模適正化について、着手して8年も経過しているが、文科省が平成27年に発行した手引書に従って進めたのか。

答 27年に設置した愛西市立小中学校適正規模適正配置等検討協議会では、手引書を資料として配布している。

問 今後の全体計画は、どうなっているのか。

答 現在、基本方針の改訂について、パブリックコメントを実施している。今議会で補正予算を計上し、今後新たな協議会において、学校規模適正化と学校施設老朽化対策を協議していく。

高齢者福祉タクシーの 制限見直しを

真野 和久議員

介護予防外出支援等の観点から検討する
保険福祉部長



▲高齢者福祉タクシー料金助成利用券

問 3月議会において、

高齢者福祉タクシーの制限見直しの一般質問で、利用範囲の拡大を今後検討する答弁があった。具体的にどのようなものか。

また、80歳未満の高齢者は、高齢者でない同居の家族がいると対象にならない。この年齢制限を引下げできないか。

答 ①介護予防の外出支援、②福祉サービスのひとつを基本に、検討している。

年齢の引下げについて

は、単に引き下げれば良いということとは考えにくく、必要な方に必要な支援ということを基本としたい。

問 利用目的だけではなく、高齢者の独り暮らし

や高齢者世帯のみという要件も見直しを検討しているということか。

答 そのとおりだ。

統廃合より小規模校支援の充実が先

問 小中学校適正規模

等基本方針の改定では、中学校を優先する提案がある。小学校の統廃合は中学校の後になるなら、小規模校へ支援をどのようにしていくのか。

答 小規模校に限った特別な支援は考えていない。課題が確認されれば、その解消に向け対策する。

問 基本方針にも、小規模校の様々な課題が書かれているが、現在、本市の

学校で確認された課題はあるか。

答 学校からは直接は聞いている。

問 具体的に状況をつか

み、それが統合しなければ解決できないのか、統合しなくても改善をしなければやっていけないのかをしっかりと見極める必要がある。

前回、児童・生徒の確保のため、小規模特認校

制度の活用を提案したが、今、創意工夫をおこなっている学校をしっかりと守ることが必要だ。その点で支援についてどう考えているのか。

答 あくまで傾向だが、人間関係が固定してしまっている。ある程度の人数は必要ではないか。

その他の質問

●市独自に給付型奨学金を



移動期日前投票所を 導入する考えは

馬淵 紀明議員

課題がある 様々な視点で考えていく
総務部長

年齢	投票率		
	男	女	計
18歳	36.91	38	37.44
19歳	25.95	35.35	30.31
小計	31.21	36.68	33.81
20～29	26.02	29.28	27.64
30～39	31.67	36.96	34.26
40～49	40.45	45.79	43.06
50～59	46.24	50.94	48.54
60～69	59.43	64.19	61.87
70～79	67.49	66.61	67.02
80歳以上	57.21	43.25	48.83
合計	47.82	49.97	48.93

令和4年4月24日執行 愛西市議会議員一般選挙

▲4月に行われた市議会議員選挙の投票率

問 高齢化が進む中、高齢者への選挙交通手段が全国的に課題となつている。本市は、高齢交通弱者への対策は何を行っているのか。

答 期日前投票制度や、条件はあるが、郵便等による不在者投票制度を活用して欲しい。

問 今後、高齢化が進むと投票所への交通手段の確保が難しい有権者が増えるのではないかと思う。

答 投票管理者や立会人の確保や職員の体制、セキュリティなど多くの課題がある。選挙管理委員会の中で様々な視点から考えていく。

公共施設バリアフリー化の推進を

問 本市の公共施設のバリアフリー化は、どのように進めていくのか。

答 公共施設のバリアフリーに関する整備等は、バリアフリー法や関係条例によって義務づけられている。公共施設等個別施設計画等により施設改修の機会を捉え、計画的な整備を実施していく必要があると考えている。

問 自治体によっては基本構想等を策定し、計画的にバリアフリー化を進めているところもある。本市も優先順位、また優先箇所を決め、高齢者、身体障がい者のみならず、全ての障がい者、また妊婦、乳幼児を連れた方々の意見を取り入れながら進めていくべきと考える。計画をつくる予定はないのか。

答 近年、社会的障壁の除去が求められる社会情勢において、バリアフリー法などに基づく対応は必要だと考えているが、現段階で計画の策定は予定はない。

問 公共施設全体のバリアフリー化について、市長の考えは。

答 市として、現状をしっかり把握しながら適宜対応していくべきだが、一斉に対応することは当然難しい部分もある。

救急車が早く到着する ための方策は

石崎 誠子議員

直近の消防署が出動できるよう協議する
消防長



▲救急車は本署（西保町）に2台、分署（鷹場町）に1台配備

問 永和地区は他の地域に比べ消防署から遠距離にあり、救急車到着までに時間がかかると住民は感じている。永和台団地で約20分かつた事案があるが、要因と対策は。

答 消防本部に配備の救急車2台が別の事案に出動し、消防署分署に配備の救急車が現場に向かったことが要因ではないか。こうした場合にも、現場へ移動中に情報収集や医

療機関と情報共有するなど、医療機関受入までの時間短縮に努めている。

問 管轄外の一番近い消防署から、直接出動を可能とする協定を締結できないか。

答 個別に協定を締結することは考えていないが、消防広域化を見据え、災害場所から一番近い消防署が出動できるよう検討を進めていく。

問 より早く救急車が到着できるよう、永和地区をはじめ必要とされる地域に消防署の出張所を設置できないか。

答 現在の人員、車両等により対応可能である。

問 「より近い場所」という住民の思いもあり、出張所設置については検討してほしいが、救急車がより早く到着するための方策は他に何かあるのか。

答 海部地域、名古屋市、瀬戸市、尾張旭市が一体となって「指令の共同運用」を令和7年4月から開始する予定。将来的には車両の運用を含めた広域化が必要。市消防本部としては、直近の消防署が出動できるように、今後も継続して協議する。

中学校の制服 選択制導入へ

問 現時点での方向性は。

答 令和6年4月より、市立中学校6校全ての新生・在校生を対象に期間を定めず、現在の詰め襟学生服やセーラー服に加えブレザー等の新制服を選択肢のひとつとして導入する。

問 デザインは全校統一か。

答 市内全中学校統一デザイン。ワッペンやボタン・ネクタイ等の附属品で学校の違いを出す。



令和4年の愛西市議会 議員選挙について

神田 康史 議員

投票率は48.93%

総務部長



▲投票時間の弾力化と共通投票所の設置例

問 令和4年4月24日コロナ禍の下、愛西市議会議員一般選挙が行われた。投票所ごとの男女別の投票率及び町村合併(平成17年4月)以降令和4年現在までの投票率の推移は。

答 有権者数は5万1781人で、投票率は48.93%。男女別では男性47.82%、女性49.97%。投票所別では、17投票区の内最低は佐屋3区で、41.83% (男性40.57%・女性43.03%)

最高は八開2区で59.10% (男性59.79%・女性58.46%)だった。なお、平成18年72.48%、22年65.65%、26年57.10%、30年53.40%だ。

問 投票率は低下傾向にある。現在の投票率を改善するためには①投票機の確保と②投票環境の向上に向けた取り組みが不可欠だ。

そこで社会的弱者(身体障がい者・心身障がい者)など、利用実績は代理投票49人、郵便投票3人、不在者投票施設における投票21施設、113人、期日前投票制度は7088人だ。

高齢者等)に対する投票便宜について市はどのように対応しているのか。また利用実績は。

答 投票用紙への記載が難しい場合、職員による代理投票がある。投票所に来られない方の場合、郵便投票の制度活用がある。病院や高齢者施設の入居者等では、不在者投票施設の指定を受け不在者投票ができる。他に期日前投票制度がある。

止体制づくりネットワークの構築費用・施設所有者との調整等だ。

問 投票環境の向上の観点から共通投票所の設置、投票時間の弾力化、利便性の高い商業施設等への期日前投票所の設置問題は。

答 施設の設備やコスト、セキュリティの面で課題がある。例えば不正防

高齢者福祉タクシー券 利用条件の拡大を

高松 幸雄議員

介護予防外出支援として検討する
保険福祉部長



問 本市が実施している高齢者福祉タクシーは、介護予防に重要な役割を果たすことにもなる。

答 昨年度の申請者数は何人か。また、対象者の何割の人が申請をしたか。

答 申請者数は2060人で対象者の約20%。

問 申請はしたが、二枚も利用しなかった人は何人いるか。

答 令和4年3月31日現在で851人いる。

問 利用者から要望は。

答 利用範囲を広げてほしいとの要望はある。

問 80歳以上全ての方に交付を拡大した理由は。

答 公共施設や医療機関への移動時に利用してもらうことと、免許返納の促進も考えて拡大をした。

問 外出をサポートすることは介護予防にもつながるので利用条件を拡大

すれば、もっと喜ばれるのではないか。

答 介護予防の外出支援としての活用や、対象者、条件も含めて検討していきたい。

地方創生交付金で喜ばれた施策は

問 地方創生交付金を活用して実施した施策は。

答 上水道基本料金免除、小・中学校給食費無償化、プレミアム付商品券事業、商工業者のための冬支度応援事業などがある。

問 市民から喜ばれた施策は。

答 上水道基本料金を近隣自治体が6カ月間免除のところを8カ月間実施したこと。小・中学校給食費では、令和2年6月から3年3月までと、3年6月から3年12月まで無償化を実施したこと。

問 令和4年度の臨時交付金は、水道料金の負担軽減や、物価高騰による給食費の値上げを抑えるために活用できるが、市長の考えは。

答 今年度も学校給食の無償化を実施している。小学校1カ月4300円、中学校1カ月5千円を市として負担している。今後どのような事業を実施するのか検討していく。



▲市民から喜ばれた上水道基本料金免除事業
(イメージ写真)



道の駅 再整備への思いは

近藤 武 議員

さらに付加価値を高める施設整備が必要
市長

問 道の駅「立田ふれあいの里」の利用者数の推移と売り上げ状況は。

答 平成20年度の約29万人をピークに減少傾向が続いている。売り上げも同様に、約4億3200万円から減少傾向が続いている。

問 再整備に至った経緯は。

答 オープンから15年近く経過し、施設の老朽化が進んでいる。産直施設

や土産物コーナー、駐車場及び駐輪場が狭いこと、トイレの洋式化が進んでいないこと、といったハード面の課題に対応するだけでなく、本市をはじめ、この海部地域の観光拠点として、周辺の観光資源と連携し、情報発信をより一層行うため。

問 都市公園を新たに整備する理由は。

答 一年を通して、本市の魅力を見て、触れて、



▲道の駅周辺整備事業 完成予想図

感じてもらい、一日中楽しめる公園を整備し、既存の道の駅と一体的に本市をPRできる重要な観光拠点として、この地域の活性化につなげていきたい。

問 この事業全体でいくらかかるのか。

答 約35億8千万円。

問 市の実質負担額は。

答 財政支援制度を活用し、合わせて約18億千万円を見込んでいます。

問 事業完了後の維持管理は。

答 民間企業のノウハウを活用し、新たな管理運営体制の導入に向けて、検討を進めている。

問 道の駅「再整備への市長の思いは。

答 立地的にも愛知県の西の玄関であり、自然や歴史遺産など、ほかの自治体にはない観光資源が

この地域にはある。この状況を生かしながら、今後多くの方に知ってもらうには、静観するばかりではいけない。時代に即した視点を取り入れながらアップデートしていく必要がある。

再来者や多くの方に知ってもらうためにも、さらに付加価値を高める施設整備が必要であり、市民にも市の魅力を改めて感じてもらえる施設を目指したい。

勝幡地区 市街化の取り組みと見解は

山岡 幹雄議員



市街化の傾向が強まる場合、県と検討
都市計画課長



▲勝幡地区の逆線引き区域

問 市街化区域に連担する勝幡、藤浪、町方駅周辺の土地利用をどのように進めるか。

答 鉄道駅の周辺について、無秩序な開発の抑制と優良農地の保全を基本とし、都市計画法による計画的な整備を推進していきたい。

問 勝幡、藤浪、町方地区において調整区域から市街化への取り組みは。

答 愛西市都市計画マス

タープランに基づき土地区画整理事業や開発許可制度を活用し、計画的な整備の推進を検討する。

問 勝幡地区は昭和60年に市街化区域から市街化調整区域に変更した。勝幡地区における市街化への取り組みと見解は。

答 市街化の傾向が強まる場合、県の関係部局と検討したい。

「隠れ教育費」に負担軽減

問 市内の小・中学校の入学時に保護者が負担する費用は。

答 小学校が5万円程度、中学校が9万円程度だが、佐織地区の小学校で標準服と、自転車通学の中学校はその購入費用が別途必要。

問 保護者への負担を減らす取り組みは。

答 学校生活で不要なものや省くなど負担軽減を図っている。

問 生徒が自分らしく生きたいという多様性の尊重や、健康面で自由に選べる制服の導入は。

答 令和3年9月から検討委員会を開催、新しい学生服の導入を準備している。

その他の質問

●防犯カメラ設置に補助金を

イキイキコーナー

第12回
愛西市スポーツ少年団
ラグビーフットボール協会
(愛西津島ラグビースクール)

練習日は 毎週日曜日
練習時間は 午前10時から正午
木曾三川公園東海広場 北側芝生
部員数は 55名(男子51名・女子4名)
幼児から中学生まで
指導者数は 15名
指導者から一言
団体競技であることを意識して、チーム
プレーの重要性を理解できること。

将来の夢は
ラグビー
日本代表。



ラグビーの魅力や
学んだことは
チームで勝った時に
みんなで喜ぶところ。

入部の動機は
パパがラグビーを
していてカッコいいと
思ったから。



開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・
スポーツ団体などで、活動内容を撮影した
写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・
送付先

愛西市議会広報特別委員会(市議会事務局)
〈住所〉〒496-8555 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第26回取材しました!
愛西市の偉人⑧

佐織中学校校歌を作詞した詩人 梶浦正之 (佐織町)

Q 出身は?

A 佐織村勝幡出身。1903年(明治36年)、
代々の庄屋さんを勤めた家に生まれる。

Q どんな人?

A 詩人として活躍。

Q どんな少年だった?

A 中学生の頃から姉の影響で文学に興味を
持っていた。俳壇(俳句界)を統一したいという
夢をもち、当時から好きなものは音楽・オペラ・
文学だった。一方で、嫌いなものはゲジゲジ虫
と親しみやすい側面もあった。

Q 功績は?

A 数多くの詩集の出版や、地域への貢献とし
て、村会議員や教育委員を務めた。身近なもの
として、佐織中学校の校歌を作詞した。



▲佐織中学校校歌(佐織中学校体育館)

参考『叡智と情熱の詩人 梶浦正之』愛西市八開郷土資料室
取材協力 石田泰弘(生涯学習課長)

令和4年9月定例会の開催予定

8月29日(月)	本会議(招集日)議案上程
9月 1日(木)	本会議(第2日)一般質問
9月 2日(金)	本会議(第3日)一般質問
9月 7日(水)	本会議(第4日)議案質疑
9月12日(月)	総務文教委員会
9月13日(火)	建設福祉委員会
9月15日(木)	決算特別委員会
9月27日(火)	本会議(最終日)討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

9月8日(木)午前10時～午後7時～
9月9日(金)午前10時～午後7時～

- 本会議及び委員会は午前9時30分
(決算特別委員会は午前9時)から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

いつも「議会だより」
をお読みいただき、あ
りがとうございます。
新型コロナウイルス
感染症拡大の影響で、
紙面を飾る取材に規制
もあり思うような報
ができませんでした。
今回の表紙は、3年
ぶりに開催された市消
防団観閲式の写真です。
また、イキイコナー
の取材では、スポー
ツ少年団の活動を安心
して保護者が見守れる
環境も整ってきたと感
じました。
市民の皆様にも、戻り
つつある各種行事の取
材を通して興味を持っ
ていただける紙面づく
りに今後も努めてまい
ります。

(原 裕司 記)

委員長 真野 和久
副委員長 原 裕司
委員 高松 幸雄
山田門左衛門
中村 文武
佐藤 旭浩